

出題のねらい

児童・生徒に身に付けさせる学力は、学校教育において最も関心の高い内容の一つである。学力には、教科書の内容に象徴されるような、体系的にまとめられた知識を記憶し、再生できる力を基本とする「伝統的な学力」があるのに対して、平成元年の「新しい学力観」以降、課題を解決するために必要な思考力・表現力・判断力・行動力といった「新しい学力」の習得が求められている。この「新しい学力」は、「PISA型」と呼ばれたり「問題解決型」と呼ばれたりする学力であり、生きて働く学力でもある。この「新しい学力」に注目し、「新しい学力」を児童・生徒に習得させることがいかに難しいかを受験生に考えさせ、「新しい学力」を習得させる上での難点をどのように読み取ったかを問いたい。

問1～問3は、本文の内容を理解し、本文の言葉を用いてどの程度論理的に説明できるかを評価する。問1は、「新しい学力」を育成する際の第一の難点として教師が指導方法を実践できるかという点があげられているが、筆者がその難点をあげる理由について本文の言葉を用いて説明できるかどうかを問う問題である。問2は、「新しい学力」と対をなす「伝統的な学力」がどういった学力であるのかを本文から読み取り、本文の内容に沿って説明できるかどうかを問う問題である。問3は、「新しい学力」を育成する際の第二の難点として評価の問題があげられているが、筆者がその難点をあげる理由について本文の言葉を用いて説明できるかどうかを問う問題である。